



北海道方面

道路改良運動

札幌市北八條から札幌村役場に通ずる札幌、札幌村線は準地方費道路であるが、同道路は農産物運搬を初め乗合自動車線に當り道路の損傷甚だしく、しかも道路幅狭隘且つ側溝なく春秋は泥濘甚だしいので、改修方法に努力せるも、石狩廳管内の準地方道路修繕費は僅かに一萬餘圓であるから、到底改修が思ふ様にゆかぬのでこれを地方

費道に編入して改修方を促進すべく、井山札幌村長並に上口市議外鐵北在住市議連署を以て陳情書を提出することになった。

本田澤道路擴張

小樽市梅ヶ枝町から本田澤に通ずる地方費道路は、幅員僅かに三間で甚だしく狹隘を感じ、殊に人家が稠密してある關係から交通上非常な危険を常に感じてゐるが、延いては北方小樽の發展上にも支障を及ぼすといふので、道路擴張實現の爲に本田澤道、路擴張期同盟會を組織する事となり、高見、柴山、佐野の各市議を中心に梅ヶ枝、

東北方面

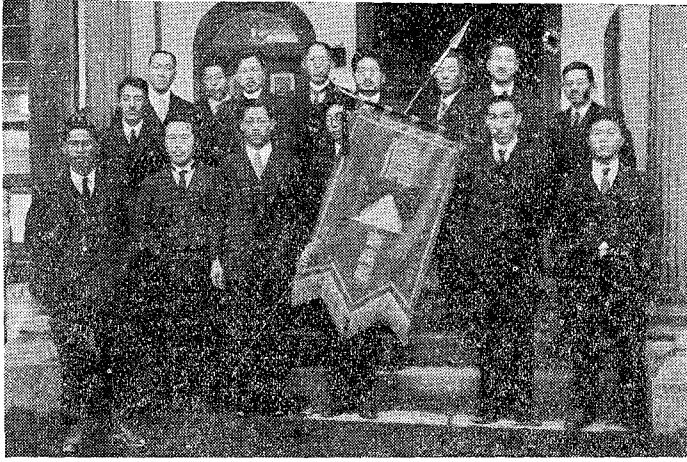
青森縣の道路愛護

青森縣に於ける道路維持修繕競技第一回の優勝者褒賞式は、昨年十一月十九日同縣廳に於て行はれ、優勝旗並賞金を知事より夫々手交された。

此維持修繕の競技は管内樞要路線・付、縣道及國道計二百一十一里を八箇所の土木出張所に割當て競技路線とし、前期後期の二期に分けて修理せしめ、前期は客年七月二十日より一週間、後期は同十月二十七日より一週間に亘り施行せしめ之が實地成績考査には各回共榊井土木課長親しく實地審査を遂げた結果一等弘前、二等五所川原、三等三本木の各土木出張所で一等賞には優勝旗及賞金百圓、二等賞には賞金五十圓、三

本田澤、末廣、豊川、錦の各關係町會長其他協議の上實現を期する事となつた。

等賞には賞金三十圓を交附した。尙知事より各土木出張所長に對し將來の維持修繕並



技に關し夫々訓示するところがあつた。

不動橋架換決議

宮城縣登米郡錦織村上沼村間北上川船橋は明治二十八年に架設したもので橋態軟弱となり自動車、荷積馬車等の河中に墜落を見、また一朝増水に遭遇すれば交通杜絶し、ために産業の發展を阻害すること甚大なので登米、本吉、栗原郡の十四ヶ町村有志約五百名連署の決議を湯澤知事に提出した。

橋梁架替工事

宮城縣の新事業中最も期待されて居る橋梁架け替工事ば、昭和六年度から三ヶ年繼續事業として工費總額百十三萬六千圓の豫算を以て施行することになつたが、その各年度の支出額は六年度 十萬圓、七年度四十二萬圓、八年度四十一萬六千圓で、財源は總工費の内九十二萬三千圓を起債に求める計畫である。

黒川横貫道路

宮城縣黒川郡鶴巢村北目大崎より葦柳島屋太田山田を経て宮城郡利府村に出て鹽釜町に通ずる縣道工事も昨年三月完成し車馬通行してあるも何分路面の凹凸著しき上に砂礫少なくトラツク、タクシーの如きは交通不可能の状態にあるので、黒川郡を横貫する折角の道路も利用少なきものとなつてゐるので近く修路の爲め砂利撒布を充分に行ひ一日も速かに交通及び物資運輸の便に供する事となつた。

北陸方面

雪に破損する上越の道路

日本三大雪地に數へられる上越地方は來る冬毎に對雪防備を講じ雪災の緩和に努めるが、一夜に積る丈餘の雪が如何に人畜に被害を及ぼすか、約半歳の積雪が融ける頃

人々は今更のやうに自然に抗し難いことを知悉するが、就中交通方面に於て支障多く鐵道關係では既に能ふ限りの準備を施し雪害に緊張してゐるが一方地方道路、橋梁にも大準備が必要とされ高田土木派遣所では目下大童となり保全策に奔走努力してゐる

所長安田三郎氏の談に依ると上越の交通被害は水害と雪災を重視すべく積雪前に於て破損見越の修理作業を爲されば春の融雪期に於て驚くべき破損を見、今春來の災害復舊工事に併せ雪災豫防の施設で渦巻く有様である。例へば高田管内は縣道五十八線にて延長二百里橋梁數百が此間にあり縣下有数の長程と言はれて居る、雪と交通の苦澁、高田派遣所では此點に留意し各線を念入に検査し、雪害豫防を果す爲め種々畫策中である。

大正橋架替

西頸城郡縣道松本線小瀧村地内大前姫川に架設の大正橋は腐朽して自動車及び荷馬

車は徐行し漸く通行して居る状態なるが、縣では本年度の豫算を以て新に架設することに決し近く請負入札に附する運びになつて居る。

吊橋となる西谷橋

昨夏六十年來の大洪水に流失した三島郡塚山驛から同村西谷鐵泉場をつなぐ西谷橋架け替へば確定したが同地點河底は岩盤の爲に杭打が難事であり木橋では將來危檢が多いので長岡土木派遣所の意嚮としては徑間九十四尺幅員九尺の完全な吊り橋となす豫定で目下設計中である、これが竣功の曉には瀧海の碧潭二十尺に架する吊り橋として景趣を添へるであらう。

東海方面

北伊豆震害復舊道路

伊豆北部震災の復舊に關し神奈川、靜岡

兩縣當局は鋭意努力中であるが、道路橋梁其他一般土木復舊費として、神奈川縣に於ては壹百十九萬圓、また靜岡縣に於ては壹百六十萬圓（内三十萬圓は清水港）を申請し國庫より約其の八割五分を補給する筈である。

一宮市の道路擴張

一宮市の道路網は昨年決定された市外中島郡起町與町今伊勢村大和村の四ヶ町村にもそれ／＼建築法が實施されるに至つたので爾來製圖測量杭打ち等をして順次仕事を進めて來たがいよいよ六年度から決定道路の擴張工事に着手する豫定で目下擴張する道路について種々考究中である。

名古屋、犬山線縣道改修

名古屋犬山線縣道改修問題についてはさき頃關係地の小牧宮地、味岡丹羽、樂田鈴木、羽黒長谷川各町村長が縣當局に陳情中であつたが味岡村より丹羽郡樂田村境まで

と小牧町南外山地内の實地測量を終つて目下縣當局の手許において設計中である。

揖斐、長良架橋起工式

揖斐、長良二大川國道橋起工式は去る十一月二十九日午前十一時から揖斐川の中洲に設けられた式場で市村三重縣知事の擧式の辭について型の如く祭典を行ひ午後十二時三十分式を終つたがこの日内務大臣代理(一宮參與官)、小林貴族院議員、加藤、木村松田の各代議士その他約五百名の參列者あつて非常な盛儀であつた。

内海—常滑間道路改修

愛知縣知多郡内海町から常滑町に至る縣道の改修は縣の直營工事で行ふことになつたが右工事の使用者は失業者救済の目的から地方の失業者中から希望者を求めることになつたので半田土木工區に於ては初めての試みである。

犬山—栗栖間の道路改修

地方に於ける失業者救済のため特別改修工事をする事となつた岐阜縣犬山、城東村、栗栖間の道路面を實地調査のため舊臘二十一日縣土木課員數名派遣され犬山、城東兩役場に立寄り工事の打合せをとげた。

白川橋改築工事概要

二號國道滋賀縣土山町大字南土山大野村大字前野入會野洲川支流松尾川筋に架けた白川橋は客年七月起工、同十二月竣工した。其の工事概要は左記の如くである。工費金五萬五千八百八拾圓餘、橋梁延長二六間四一、有効幅員二〇呎、橋體上路式ラーメン型橋其經間一五五呎、高二〇呎、中心間隔二一呎六吋、分格長一五呎六吋、分格數一〇、使用鋼材一一六噸、塗料、亞酸化鉛塗料三回塗、橋床鐵筋混凝土床版厚六吋、使用鐵筋四八噸七、コンクリ一〇立坪、橋面瀝青混凝土鋪裝トヘカ式厚二吋、高欄

鑄鐵製金物及瓦斯管製使用鑄鐵六噸八八、瓦斯管徑一時もの、延長八九二呎六吋、橋臺栗石入混凝土左岸橋臺高四一尺幅三三尺混凝土四〇立坪、右岸橋臺高五〇尺、幅三三尺、混凝土七一立坪、道路延長一七九間三四内左岸道路一二〇間一〇右岸道路七七間二四、有効幅員二四尺、路面水締砂利道設計積載荷重橋梁中央に八噸自動車二臺及其前後左右に一平方尺に付一二の群集荷重(口繪參照)

近畿方面

林道築設工事費豫算成る

和歌山縣熊野地方では引續く不景氣のため木材を始め林産物が極度の不況に陥りがため林業をもつて直接間接に生活の糧としてゐる多數の山村住民は生活の途をたたれ辛うじて林業勞動に従事してゐる山村勞働者も賃金安くやうやく其日をしのぐ状態

で其他の業を失つた多数労働者の困窮は實に慘憺たるもので、島東牟婁郡支廳長はしばしば縣に慘狀を訴へて救済の施設を仰いだ結果縣林務課では差當り失業救済事業として且つ林業經營の合理化實現のため「森林土工組合」の設立を奨励する事になり縣と支廳が協力して町村並に林業家を説得して設立を促し一方事業資金として低利資金の借入や補助金交付の斡旋に懸命となつて奔走した結果東郡内に十一組合が林道築るに至り本年度内に此の十一組合が林道築設工事を起す運びとなつた。事業資金は十一組合で七萬四百二十四圓で内諸材料を除く勞力費は五萬五千四百圓見當であるから假りに一日の勞銀一圓とすれば延人員五萬五千四百人を使用する事になるから山村労働者にとつては大なる福音であらう。

熊野川架橋の曙光實現

和歌山三重兩縣に跨る熊野川架橋問題は三重縣側は何れも半額負擔に應ずる旨を言

明して居るが財政貧弱な和歌山縣ではオイヤそれと行かず久しく行愆みの状態であつたが最近新宮町を視察した藏原知事が此問題につき一肌脱ぐと語つたので關係地方は之に氣を得て新宮町に熊野川架橋期成同盟會を作つて大々的に促進運動を起すこととなつた。

神戸の道路舗裝急施

冬期に於ける失業救済事業として、神戸市は左記緊要路線を選び舗裝工事に着手するに決した△須磨舊國道の板宿、須磨間△宇治電終點から柳原交叉點まで△築島橋附近の道路「島上から中央市場前」△葦合二宮筋△加納町三丁目から生田川に至る東西の道路△日暮し通△西灘水道路全部△北尻池二丁目から大橋五丁目までとし、以上に要する經費約十五萬圓、なほこのほかに須磨の耕地整理をやつたところに側溝ができてゐない部分があるのでこれを約三萬圓でやることになつた。

中國方面

正條橋工事着々進捗

西播一を誇るモダーン橋揖保郡神部村正條の揖保川國道正條橋架替工事は十二萬圓の巨費を投じ昨春より大倉組土木部の手で工事を進めてゐるが昨今橋脚十三本のうち揖保村所屬の東岸から十本目まで出來上り西岸流水區域二本を残すのみとなつてゐる近く西岸堤防道路の通行を一時禁止して、その二本の工事にも着手することゝなつてゐりまた工事現場に電燈を設置して従業人夫二百數十名は晝夜の區別なく工事を進め来る四月までに完成を期してゐる。

渡舟を廢し架橋を急ぐ

揖保川下流——揖保郡御津、餘部間の渡舟を廢して新に三ヶ年繼續事業として橋梁の架設中なるが地元御津村ではこの豫定を

繰上げ本年度中即ち三月末までに完成を要望しこのほど村會でこれに伴ふ地元負擔金を決議し目下縣當局に認可申請中である。

道路改築で龍野驛模樣替へ

揖保那神部村泰田、正條の省線龍野驛前一帶は目下架替工事中の新正條橋完成と共に驛前を東西に貫通してある姫路、岡山間二號國道線が現在の位置より一町餘北方に變更されるやう計畫されてなり、即ち國道が揖保村踏切東方の地點からレールとの交又を避けて鐵道北側に移されることとなつて龍野驛の玄關口南向を北向に改められ全く模樣替へをせねばならないことになつてゐる。國道變更については正條橋架替決定前より驛前商人の死活問題として反對の聲等もあつたのであるが縣當局に於て着々計畫を進め愈々明年度で新國道敷設に着手するやう方針確定を傳へられてゐるので驛前約百戸は最近神戸住宅會社の月賦建築に加入し新道路筋に新しい驛前街を建設せんと

意氣込んでゐる。

獨力で縣道改修計畫

加古郡別府町別府輕鐵起點より阿閉村野添を経て省線土山驛に至る縣道約一里「幅員二間」は今回別府の多木代議士が獨力で工事費約五千圓を投げ出して四間幅に改修の意見を發表したので關係別府、阿閉兩町村會は議決に附し近く縣當局に申請することになつてゐる。右縣道は土山に於て國道及び二見社縣道に接續する重要道路であつて車馬の交通頻繁であるからこの改修は利益を蒙る者が多い譯である。

安積橋渡初式

揖保川上流——宍粟郡神戸村安積の安積橋開通渡初式は去月廿七日午前十時から現場で舉行され縣より上田道路課長、小池龍野土木出張所主幹其他列席、餘興に餅まきなどあり盛況を呈した。

宇部西岐波縣道改修

縣道小郡宇部線改修工事中取殘されてゐた西岐波村、宇部市、則貞間の改修については地元村民がかねて着工の陳情をなしてあつたが、縣でも右陳情の趣旨を諒とし愈々近く工事に取かゝる事となつた。

永久橋の渡初式

美濃郡久留美村では去る廿八日宿原より與呂木に通ずる永久橋の竣工落成式を兼ね盛大な渡り初式を舉行した、全橋鐵筋コンクリートの美麗なものである、當日藤井縣會議員を初め、三木町長、志染、別所兩村長、三木警察署長ら多數の來賓あり式後同村長尾小學校講堂で祝宴を張り功勞者に記念品を贈呈した。

山口大田線縣道改修

山口市では近接町村の重要交通路たる山口大田間縣道改修につき縣に對し實現要望

の陳情をなしつつあつたが過日關谷土木課長より山口市長に對し地元にて同工費の半額負擔の意思あれば二ヶ年繼續事業として來年度縣豫算に計上すべき照會があつたので取り敢ず山口市役所に於て山口綾木兩市村負擔協議會を開催の結果同道路を設置することに決定した。このため山口市では

緊急市會を開き同縣道交附金に關する協議をなすこととなつたが同道路の負擔關係は工費約十二萬圓でその内六萬圓を縣費五萬五千圓山口市寄附五千圓綾木村寄附として用地費は綾木村約一萬圓山口市内一萬三千圓「山林は所有者の寄附豫定」であるが財源は起債による豫定にして綾木村に於ても緊急村會を召集の筈。

下關小串縣道一部改修成る

下關小串間縣道川中村地内の改修工事は昨年夏から起工中であつたがこの程竣成し川中村にては右竣成を祝するため舊臘十七日午前十一時より同村小學校にて祝賀式を

舉行した。縣より關谷土木課長、保良代議士下關選出縣會議員附近町村長其他百數十名列席の上祭壇を設けて兼富中山神宮社司の祝詞に次で下田村長の玉串捧、奠來賓の祝辭あり終つて別席にて祝賀の宴を張り盛況裡に散會した。

四 國 方 面

德島市の郊外道路

府縣道德島津田線は縣廳より德島港口の津田に至る重要路線にして從來其幅員極めて狭小なるが上につゞら折の街路を經由して漸く自動車交通せしめ居りしが、今回縣市協力の下に殆んど舊路線を離れて砥の如き大道を通ずるに至つた、本線は津田を経て小松島に達する捷徑で現在の指定府縣道德島小松島線に對し、本線は海岸線を成すものであつて、去る十一月九日協賛會計費の下に盛大な竣工式を舉げた。之れと同

時に市道齋田線の竣工式を舉げたが、本線は津田町及齋田町方面と齋田大道「前記指定府縣道」とを連絡するものであつて市の南部を東西に繋、主要路線である。右各工事の概要は延長、千八十四間四歩、幅員六間、工費、十萬五千六百圓、内工事費五萬二千八百七十八圓、用地費及物件補償費五萬二千七百二十二圓、施行年次、自昭和二年度至同五年度繼續事業、工法、縱斷最急勾配六百分の一、曲線最小半徑五十間一ヶ處、路面橫斷勾配二十分の一、鋪裝は床固砂利敷とし、兩側土留擁壁工は石垣、石張、コンクリート。本線を横る齋田小通し川には舟運の便と市街橋としての外觀を考慮し混凝土丁型桁橋を採用した。工事期間、昭和二年十二月着手同五年十一月竣工。市道大道齋田線は延長千七十六間、幅員三間、工費三萬八千圓にして用地費の一部は地元寄附、工法、縱斷勾配最急三十五分の一殆んど一直線をなし、路面布礫、側溝混凝土、工事期間昭和二年十一月着手同

五年三月竣功。

九州方面

福岡縣の道路工事

福岡縣では相踵ぐ鑛山地方の失業者はもとより、一般失業者の救済事業の一として重要府縣道の改修工事及び國道の鋪裝工事に着手する事に決定してゐたが、この工事は先般來社會課及び特高課に於て調査した縣下の失業者分布状態に基き、先づ鋪裝工事は主に北九州の工業都市及び市部に屬する國道幹線の路面鋪裝で、之は材料費を除けば總工費の四割は勞力費となり失業救済事業としても最適である。次に改修工事は大體鑛山地方を主として行ふ筈で、既定工事の分も含む事になるであらう。而して兩者の路線名等は各管區長と打合せ飯塚福岡線、門司黑崎線等相當多數路線の選定を見たる模様である。

久留米通町道路鋪裝成る

久留米舊藩時代の中心街である通町筋約六百間、同町繁榮期成會が繁榮回復策として街路擴張鋪裝を計畫し、各町一致で軒先を切り四年度末から工費約四萬圓を以て縣土木管區の手で簡易鋪裝工事に着手してゐたが竣工したので、舊曆十七日午前十一時より通五丁目六丁目中間の三井電車通附近で盛大に竣工式を挙げ、終つて日吉神社境内で祝賀宴を開いたのであるが、この通町筋は先に日田縣道に直通する通新町筋を開鑿したが、同通には日田街道が連絡する外、近く開鑿される南久留米驛連絡道路も直通する筈で、永らく眠つてゐた通町筋はこゝに更生の途を歩む譯である。

小倉市海陸貫通道路

小倉築港から同市京町十二丁目に抜けて九軌會社横電車通りに入る海陸連絡貫通道路「幅四間」の築造に關し市當局及び各關係

者が立會で豫定線の實地調査及び測量を行ひ路線を決定したが立退き家屋は僅かに二戸の移轉にすぎないので簡単に解決すべく期待されて居る。

道路鋪裝促進

小倉市に於ける六年度の道路鋪裝豫定線は延命寺、到津、橋間、香春口企救町間陸軍橋室町間、臺町中原間の五線で之等の主要路線全部に亘り鋪裝された曉は同市は面目を一新するであらう。